

なんたん子育て応援コラボ

南丹広域振興局南丹保健所（福祉室）

【概要】

- 平成17年度から、「子育て支援の基盤づくり」として、子育て地域パートナーの育成、子育てサークルのモデルづくりや、行政と子育て支援団体等による南丹地域のネットワークの立ち上げを行う一方、企業や商業協同組合、商工会等の地元企業への働きかけを行いました。
- 子育て支援者・団体・行政等による子育て支援ネットワークの中に上記企業等の参画を得て、地域全体で子育てを行うための新たな支援策として、「なんたん子育て応援コラボ事業」を実施しました。その結果、子育て支援の各関係機関・団体の横の連携がさらに深まり、地域の活性化にもつながりました。

背景

◇ 管内の子育て支援の状況

南丹地域は、亀岡市のような都市部から、南丹市、京丹波町のような農村部まで地域の実情は大きく異なります。都市部では子育て中の元気なお母さん方が、また農村部では子育てを卒業された先輩ママが、それぞれ主体となり、一人ぼっちのお母さんを作らないために、地域ごとにそれぞれの特色を生かした活動が展開されています。

◇ 子育て支援の基盤づくり

・ 子育て地域パートナー（ボランティア）の養成

府の「子育て地域パートナー養成講座」を南丹保健所で実施したところ、子育て中の親子を応援したいという多くの熱心な受講者がありました。この講座を通じて78名のパートナーを養成するとともに、サークルのなかった地域にも新たなサークルが立ち上げられるなど、各地域のキーパーソンとなる方々を発掘することにつながりました。

・ サークル活動のモデルづくり

府の「地域発未来っ子応援事業」の取組みにおいて、南丹市八木町の子育てサークルが、手芸や、野菜づくりなどの特技を持った多くの地域の方々に協力をいただきながら、近くの畑やまちに出て、自然の中で親子が楽しむなど、親子どうしの交流の場が広がっていきました。

・ 子育て支援のネットワークづくり

府の取組を契機として、市町と、子育て地域パートナーを含む子育て支援者や団体が

協働し、親子の交流会や子育て支援者の情報交換・交流会が実施され、この結果、南丹地域の子育て支援ネットワークが組織され、市町を越えた交流が深まりました。

◇「きょうと子育て応援パスポート事業」の推進

平成19年度から実施された「きょうと子育て応援パスポート事業」の協賛店舗を募るため、商工会や地元企業への働きかけを行ったところ、それまで関わりがなかった保健所と企業等とのつながりができ、協賛店舗数を増やすことができました。

目的

「地域が一体となって子育て家庭を応援し、なんたん地域における子育て力の向上を図る。」

取組

1 「なんたん地域づくりコラボカフェ」の開催

子育て団体相互のつながりが強まる中、そのネットワークに地元企業等を巻き込み、更なる地域力の向上をめざして、「子育てを通じた地域力の向上」をテーマに意見交換会を平成20年12月に開催しました。

<参加者メンバー>

子育て関係団体等

亀岡市：NPO法人亀岡子育てネットワーク、スターキッズ

南丹市：子育て支援ボランティア「すくすくやぎっこ」、育児サークル「そーれ」

京丹波町：主任児童委員

宇治市：NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク

*この他各市町から子育て地域パートナーも多数参加

企業等

亀岡市：亀岡商業協同組合

南丹市：日本ミルクコミュニティ(株)京都工場

京丹波町：丹波マーケステナント会

行政

亀岡市・南丹市・京丹波町の各子育て支援担当者、各市町子育て支援センター、南丹保健所、府こども未来課、府貿易・商業課

<参加者の意見>

① 子育て支援者

- ・ 食育を進める観点から出前型親子料理教室を開催するなど、企業の専門的な立場からアドバイスが欲しい。
- ・ 生活に役立つ情報を欲しがっている主婦も多いので、小売店は専門的な知識を提供するなど、大型店にはない良さをアピールすればよい。
- ・ 企業などに要望をするだけでなく、自分達ができることを提案して一緒に地域づくりを進めることが子育て環境をよくする。

② 企業等

- ・ 若い世代が大型店舗に流れる中、どうすれば商店街に親子を呼び戻せるかが課題。
- ・ テナント会の女性部会ができ、女性が活動することで店や地域が活性化できないか検討を始めた。
- ・ 子育て支援が即利益に結びつかなくても、地域づくりに貢献でき、また、子育てにやさしい商店街としてのイメージアップにもつながれば、そのことが将来の利益となることを考えさせてもらった。

③ 市町行政担当者

- ・ 子育て支援が、地域の活性化につながると感じた。
- ・ 企業とは関わりがなかったが、色々な団体、企業との交流により知恵を出してやっていきたい。

<検討会の成果>

参加者それぞれの立場で新たな気づきがあり、また子育て支援者・行政・地元企業がコラボすることにより、それぞれメリットがあることを確認して、3者がつながるきっかけとなりました。

2 「なんたん子育て応援コラボ事業」の実施

きょうと子育て応援パスポートの協賛事業という位置づけで、企業・商店街と協働して、様々な子育て応援コラボ事業を実施しました。

◇ 酪農体験と牛乳工場見学会

日本ミルクコミュニティ（メグミルク）京都工場池上製造所に協力をいただき、夏休みに小学生の親子を対象にした「酪農体験と牛乳工場見学会」を実施しました。

参加者からは、「乳しぼりやほ乳体験などふだんできない貴重な体験ができた。」「牛乳



わくわくドキドキ乳搾り体験



みんなで記念撮影

パックによる紙工作は夏休みの工作に使えるよ
い。」「盛りたくさんな内容で充実した一日が過ごせ
た。」などの感想がありました。平成21年度は応
募総数が94件となるなど、今では夏休みの人気
のある事業として定着しています。

◇ えエコ（eco）としよう！！「親子おもしろい理科実験教室」

亀岡商業協同組合と共催で、親子おもしろい理科実験教室を実施しました。

組合が廃油回収など、環境保全に取り組んでおられることから、みんなでエコ（環境）の
ことを考え、親子のふれあいの場づくりに資することを目的に実施しました。

環境（eco）を中心とした科学マジックショーや工作では、液体窒素を使った『マイナス196度の世界』や『二酸化炭素を水に溶かすと？』などの興味深いおもしろ体験を
しました。小学生、保護者を合わせて約100名の参加があり、「子どもと一緒に親も楽しめた。」「パスポートの認識が深まり、環境（エコ）を再認識するきっかけにもなった。」
との感想があり大好評でした。



めずらしい実験にみんな注目！

◇ 「ウルトラマン撮影会」

西友亀岡店において、子どもたちを対象にした、「ウルトラマンナイス」の握手会と撮影会を実施
しました。

100名を超える参加があり、ヒーローと一緒に
ポーズを取っているちょっと緊張した顔の子ども達、
それを暖かく見守る保護者の姿がありました。



ウルトラマンと一緒にチーズ！

◇ 「土曜夜市（ビンゴゲーム大会）」

「丹波マーケス」の企画、提案により土曜夜市で「ビンゴゲーム大会」を開催しました。

当日は、子育て地域パートナーにも協力いただき、参加した子どもたちとのふれあいが深まるなど、地域らしさが出た取組みとなりました。パスポートを持参した子どもたち約140名を含め、400名近い親子の参加がありました。



パスポートを持参し受付に並ぶ子ども達



◇ 「出張“乳製品親子ふれあい料理講習会”」

子育てサークルから要望のあった親子料理教室について、食育の推進と地域の子育て支援を目的に、日本ミルクコミュニティ(株)の協力を得て、雪印乳業(株) 関西コミュニケーションセンター食育チーム栄養士による料理講習会を実施しました。

南丹市、南丹市子育てすこやかセンターの協力も得て、3回にわたり、子育てサークルにて食育を兼ねた講習を実施し、延べ親子31組、110名の参加がありました。

参加者からは、「カルシウムの取り方がよくわかった。今後の食事づくりの参考にしたい。」「料理に集中しリフレッシュできた。」、また子育てサークルからは「ふだんのサークル活動ではできないことができてよかった。」など好評でした。



調理風景



試食をしながら食育講習

効果

◇ 企業、商店等の理解が進む

コラボに参加いただいた企業等は、コラボ事業を通じて子育て支援の取り組みが子育てにやさしい企業としてイメージアップに繋がることや、集客などのメリットがあることを理解していただき、自ら企画をするなど自発的に参加してもらえました。

◇ 子育て支援の取組が多彩に

企業等とのコラボは、各企業や店が持つ特色や技術・ノウハウを発揮していただき、行政だけではできない多彩な事業プログラムやメニューの幅が広がり、多くの子育て家庭に楽しみながら参加していただくことができました。

◇ コラボが地域力の再生に

地元企業や商店街が、PRを兼ねてと子育て支援団体等と協働して事業を実施したことにより、地域の活性化と地域力の再生にもつながってきています。元気なお母さんや団塊世代の先輩ママさんなど、子育て支援に関わっておられる方々が地域づくりにも活躍され、今では、子育て支援の取組が地域のつながりの「接着剤」となっているように感じられます。

現在

◇ 地域に定着している事業

人気のある「酪農体験と牛乳工場見学会」、「雪印出張“乳製品料理講習会”」、「丹波マーズ土曜日 ビンゴゲーム大会」等の事業は継続して実施され、地元での恒例行事として定着しつつあります。

◇ 新たな事業計画

「まちのお店屋さんが出かけます講座」

亀岡商業協同組合加盟店に各子育てサークルに出向いていただき、「簡単な中華風お菓子の作り方」「魅せるデジカメの撮り方」などお店屋さんならではの知識、ノウハウを伝授してもらいます。

振り返りと今後の課題

◇ 子育て地域パートナーの育成から

なんたん地域では、子育て支援に熱意のある多くの女性の存在があり、その方たちを子育て地域パートナーとして発掘し、継続して活躍いただいていることは大きな成果でした。講座終了後もフォローアップ研修を実施することで相互のつながりを持ち続け、それぞれのモチベーションをアップしながら、新たな子育てサークルの立ち上げにも関

わるなど子育て支援の大きな原動力になっていただいています。

◇ **地元の企業・商店街を巻き込むこと**

はじめは子育て支援に企業が関わることに消極的な意見もありましたが、何も特別なことをしていただくのではなく、企業活動そのものを、子育て応援にも広げることで、企業自身にとってメリットがあることを理解いただき、積極的に参加していただけたことが大きな成果に結びつきました。

◇ **より身近な取組へ**

これまでではパスポート事業を推進する観点から保健所が主導する形で取り組みを進めていきましたが、今後は、各市町の子育て支援センターや子育てサークルを主体として、より身近で、より楽しいコラボ事業が展開できるよう取り組みを進めたいと考えています。

企画総務課コメント

きっかけは京都府の事業でしたが、その後市町を超えたネットワークが組織され、活動が活発化。最後は地元企業までまきこんで、地域で子育てを支援する基盤づくりを進めた好事例です。

関係者がそれぞれの立場で、子育て支援に参加する意義や意味を感じとり、できることを役割分担することで、ウィンウィンの関係が築かれています。地域活性化の一つの取組として今後も、よりよいものにしていってください。